

問 題 編

よくわかるマスター

特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会公認

ウェブデザイン 技能検定 過去問題集

3級

平成 25 年度
第 4 回
ウェブデザイン技能検定

3 級

学科試験問題

◇受検上の注意◇

1. 試験会場では、技能検定委員の指示に従うこと。
2. 他受検者の受検を妨害する行為はしてはならない。
3. 受検中に不正があった場合、また、技能検定委員に不正を指摘された場合、受検者は作業を中止して退場すること。
4. 受検の際、机上には受検票、筆記用具のみ置くことができる。携帯電話・PHSなどの通信機器は試験中に使用、または机上に置くことはできない。また、携帯電話を時計の代わりに利用することはできない。
5. 計時は、技能検定委員に説明された時計を利用すること。受検の際には、30分経過、受検終了10分前に技能検定委員からアナウンスを行う。
6. 受検中のトイレ、体調不良の際は必ず技能検定委員に申し出ること。所要時間については受検時間に含まれる。
7. 試験開始より30分を超え、制限時間内に試験を終了した場合、技能検定委員に試験終了の意思表示を行い、試験会場より退出することができる。ただし、再入場は認めない。
8. 退室は技能検定委員の指示に従うこと。
9. 解答用紙を試験会場から持ち出した場合は、無効となり不合格とする。
10. 試験問題は持ち帰ること。
11. その他、いかなる場合にも技能検定委員の指示に従って受検すること。

◇解答にあたっての注意◇

解答用紙の記入にあたり、次の指示に従うこと。指示に従わない場合には採点がされない場合があるので注意すること。

- (1) 解答用紙はマークシート方式のため解答用紙に記された記入方法に従って記入すること。
- (2) 問題用紙の「第 X 問」は解答用紙の「問 X」の欄にマークすること。
- (3) 受検番号欄には、必ず受検票に記載されている学科用の受検番号を記入すること。
- (4) 氏名欄には、必ず受検票に記載されている氏名を記入すること。
- (5) 解答は濃度HB程度の鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。解答を訂正する場合は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないようにすること。

◇学科試験 留意事項◇

1. Windows Internet Explorer6 以降および、Mozilla Firefox3.0 以降を指定ブラウザとする。
2. ハイパテキストタグ付け言語(HTML)については JIS X 4156:2000 (ISO/IEC15445:2000) および W3C(ワールドワイドウェブコンソーシアム)HTML4.01 とし、かつ、拡張可能なハイパテキストマーク付け言語(XHTML)はW3C XHTML 1.0 以降とする。
3. 段階スタイルシート(CSS)については JIS X4168:2004 および W3C CSS level1 以降とする。
4. 問題文中に(X)HTMLファイルとある場合は、HTMLとXHTMLどちらを選んでもよい。また、HTML、XHTMLと明記し記述している場合はそれに従うこと。

1. 各設問において、正しいものは1を、間違っているものは2を、該当設問の解答欄に記せ。

第1問

高いフレームレートで再生ができると一般的に動画は滑らかに動作する。

第2問

スマートフォン向けウェブサイトとPCからアクセスされるサイトは、必ず別々にデータを用意しなければならない。

第3問

特許権、意匠権、商標権、著作権の侵害に対しては、侵害行為の差止請求権、損害賠償請求権などの民事上の法的制裁のほか、侵害者に対する刑事罰も設けられている。

第4問

ウェブサイトのトップページは、必ず `index.html` のファイルでなければならない。

第5問

アクセシビリティを向上させたウェブサイトは、データ容量が多くなる為、アクセス数の多い商用サイトには不向きである。

第6問

クロスブラウザチェックとは、複数の異なるウェブブラウザで仕様どおりにウェブページが表示され機能するかを検証することである。

第7問

HTTP ヘッダとHTML 文書内の `meta` 要素で文字コードが指定されている場合、`meta` 要素の文字コードが優先される。

第8問

サイトマップは、そのサイト構成の理解の助けとなるため、出来る限りサイトに含める事が望ましい。

第9問

スマートフォン向けのコンテンツにおける課金には、クレジットカードを使った支払方法以外は存在しない。

第10問

事業主は、職場におけるメンタルヘルス対策・過重労働対策・心身両面にわたる健康づくりを行う必要がある。

2. 以下の設問に答えよ。**第 11 問**

ビットレートの説明として最も適切なものを、以下より 1 つ選択しなさい。

1. 1 秒あたりに送信可能なビット数を示した値
2. 1 ビットの送信に必要な秒数を示した値
3. 1 秒あたりに送信可能なバイト数を示した値
4. 1 バイトの送信に必要な秒数を示した値

第 12 問

ウェブページのデザインに関する説明として最も適切なものを、以下より 1 つ選択しなさい。

1. 本文部分の文字は明朝体とし、ポイントで文字サイズを指定して正確なレイアウトを目指す。
2. 文字の色と背景色のコントラスト比を充分にとり、視認性の向上を目指す。
3. 文字の色に対して補色関係となる色を文字の縁取りに使用して、視認性の向上を目指す。
4. 本文部分の文字指定を `font-family: fantasy` と指定して、正確なレイアウトを目指す。

第 13 問

音声圧縮のコーデックでは無いものはどれか。以下より 1 つ選択しなさい。

1. H.264
2. MPEG Audio Layer-3
3. Advanced Audio Coding
4. Windows Media Audio

第 14 問

個人情報に該当しないものはどれか。以下より 1 つ選択しなさい。

1. 会社が従業員を評価した情報を含む雇用管理情報
2. 官報、電話帳、職員録等で公にされている氏名等の情報
3. 企業の財務情報
4. 防犯カメラに記録された本人が判別できる映像情報

第 15 問

改行を表す `br` 要素に関する説明について最も適切なものを、以下より 1 つ選択しなさい。

1. HTML 4.01、XHTML とともに、「`
`」と表記する。
2. HTML 4.01、XHTML とともに、「`
</br>`」と表記する。
3. HTML 4.01、XHTML とともに、「`
`」と表記する。
4. HTML 4.01 では「`
`」と表記し、XHTML では「`
`」などと表記する。

第 16 問

次の文章の **A** にあてはまる語句はどれか。適切なものを以下より 1 つ選択しなさい。

VDT 作業ガイドライン(厚生労働省)では、作業者が心身の負担が少なく作業を行うことができるよう、一連続作業時間が **A** 時間を超えないようにしている。

1. 4 時間
2. 5 時間
3. 1 時間
4. 3 時間

第 17 問

HTML、CSS、JavaScript に関する説明として適切なものを、以下より 1 つ選択しなさい。

1. CSS や JavaScript は HTML 内に記述せず、必ず外部ファイルに記述してインポートしなければならない。
2. 外部ファイル化した JavaScript は、`head` 要素以外の `body` 要素内で指定することも可能だが、外部ファイル化した CSS を指定するための `link` 要素は、`head` 要素内にしか置くことができない。
3. 外部ファイル化した JavaScript や CSS ファイルがブラウザにキャッシュされ不適切な表示となる場合があるが、このような問題を回避するためには更新するごとにファイル名を変更しなければならない。
4. CSS や JavaScript を外部ファイル化するのは、ページ単位で比較した場合、インライン記述するよりも表示が高速化されるためである。

第 18 問

ウェブサイトを管理する作業として、誤っているものはどれか。以下より 1 つ選択しなさい。

1. ファイルのアップロード前には、セキュリティ対策ソフトでウィルスチェックを行う。
2. 社内の共有フォルダなど社外の人には利用できない領域に ID やパスワードを記録したファイルを保存するなど、サイトの障害と端末故障が同時に発生した場合まで想定しておく。
3. ブラウザで見た目上の改ざんがないかを確認することに加え、定期的にファイルの更新日時やソースコードの確認を行う。
4. アクセスログを定期的に確認し、不正なアクセスが行われていないか確認する。

第 19 問

次の文章の【 】にあてはまる可能性のないものはどれか。以下より 1 つ選択しなさい。

著作物とは、思想又は感情を創作的に表現したものであって、【 】、【 】、【 】又は【 】の範囲に属するものをいう。

1. 学術
2. 美術
3. 技術
4. 文芸

第 20 問

「色の三属性」に含まれないものはどれか。以下より 1 つ選択しなさい。

1. 彩度
2. 色相
3. 明度
4. コントラスト

第 21 問

HTTP 通信において、サーバが Request-URI に一致するものを見つけれなかった時に返すステータスコードはどれか。適切なものを以下より 1 つ選択しなさい。

1. 400 (Bad Request)
2. 401 (Unauthorized)
3. 403 (Forbidden)
4. 404 (Not Found)

第 22 問

HTML4.01 の img 要素に必ず指定しなければならない属性はどれか。適切なものを以下より 1 つ選択しなさい。

1. alt
2. title
3. width
4. id

第 23 問

テキストではないウェブコンテンツに対して、その代わりとして使用できるように関連付けられているテキストのことを何というか。最も適切なものを以下より 1 つ選択しなさい。

1. ラベル
2. プレースホルダ
3. 代替テキスト
4. コンテキスト

第 24 問

障害のあるユーザが、それぞれのニーズに応じて使用する特別な機能を持ったハードウェアやソフトウェアのことを総称して何というか。最も適切なものを以下より 1 つ選択しなさい。

1. スクリーンリーダー
2. ユーザエージェント
3. CAPTCHA
4. 支援技術

第 25 問

HTML4.01 の仕様に含まれていない要素はどれか。以下より 1 つ選択しなさい。

1. dd
2. h6
3. blockquote
4. embed

※注意 マークシートに記載した氏名・受検番号を再度確認してください。学科試験と実技試験の受検番号は異なります。必ず学科用の受検番号を記入・マークしてください。間違いがある場合、採点されません。

◇免責事項◇

本検定試験において記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標である。設問内では®、TM マークを明記しない。

**平成 25 年度
第 4 回
ウェブデザイン技能検定
3 級
実技試験問題**

◇受検上の留意事項◇

1. 試験会場では、技能検定委員の指示に従うこと。
2. 実技試験用 PC の OS は Microsoft Windows XP SP2 以降である。OS やアプリケーションソフトの操作方法等についての質問への回答や補助など一切応じない。
3. 本検定試験では、Windows Internet Explorer6 SP2 以降および、Mozilla Firefox 3.0 以降の安定版を指定ウェブブラウザとする。検定用 PC にインストールされた本検定試験指定ソフトウェアは、OS に標準で備えられているアクセサリソフトウェア(メモ帳等)、TeraPad、サクラエディタとし、各データを処理するために適切なものを受検者各自で判断し使用すること。指定されたソフトウェア以外を利用して作業を行うことはできない。指定ソフトウェア以外を使用して作業を行った場合、不合格とする。
4. 受検中は、用具の貸し借り、PC およびデータの交換、不正に持ち込んだデータの利用、検定用 PC からインターネットへのアクセス、他受検者への妨害行為等を禁止する。受検中に不正があった場合や技能検定委員に不正を指摘された場合、受検者は作業を中止して退場すること。なお、不正行為があった場合は、不合格とする。
5. 受検の際、机上には受検票、身分証明書類、筆記用具のみ置くことができる。携帯電話などの通信機器は受検中には必ず電源を切っておくこと。携帯電話を時計の代わりに利用することはできない。
6. 計時は、技能検定委員に説明された時計を利用すること。受検の際には、30 分経過、受検終了 10 分前に技能検定委員からアナウンスを行う。開始より 30 分を超え、制限時間内に試験を終了した場合、技能検定委員に試験終了の意思表示を行い、試験会場より退出することができる。ただし、再入場は認めない。退室は技能検定委員の指示に従うこと。
7. 受検中のトイレ、体調不良の際は必ず技能検定委員に申し出ること。所要時間については受検時間に含まれる。また、座席などを離れる場合、アプリケーション等の操作画面、ブラウザ画面などが表示されないよう留意すること。
8. 検定用 PC のトラブル等により作成中のデータが失われる場合もあるため、各自データ保存やバックアップに留意して作業を行うこと。受検中、検定用 PC がフリーズするなど、機器にトラブルが発生し作業が中断した場合は、作業再開までの時間を技能検定委員が記録し、規定試験時間終了後も受検者は記録された時間を追加して作業の継続ができる。
9. 制作した課題の著作権は試験主催者である、特定非営利活動法人インターネットスキル認定普及協会に帰属する。
10. その他、いかなる場合にも技能検定委員の指示に従って、受検すること。

◇解答にあたっての注意◇

1. 『試験設備点検表および実技試験課題選択表』の記入にあたり、次の指示に従うこと。指示に従わない場合には採点されない場合があるので注意すること。
 - (1) 受検番号欄には、必ず受検票に記載されている実技試験受検番号を記入すること。
 - (2) 氏名欄には、必ず受検票に記載されている氏名を記入すること。
 - (3) HB 程度の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、解答を訂正する場合は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないようにすること。
 - (4) 『実技試験課題選択表』に選択した作業番号を必ず記入すること。
2. 受検票は、試験時間中は必ず技能検定委員が見やすい机上の、通路側の位置に提示しておくこと。
3. 試験時間終了時に、『試験設備点検表』および『実技試験課題選択表』を回収する。
4. 試験問題は持ち帰ること。
5. 作業を実施するにあたり、ソースなどをウェブブラウザで正しく表示されるように修正することが必要な場合がある。
6. 受検者は全 6 課題より、5 課題を選択し、60 分間で作業を完了させること。
7. 作業で利用する素材は、デスクトップ上の data3 フォルダで配布している。また、受検者はデスクトップ(または技能検定委員に指示された場所)の wd3 フォルダに、課題に従いフォルダ、ソースファイルなどを配置し提出すること(wd3 フォルダが作成されていない場合は受検者が作成すること)。なお、保存するデータは 5 課題分のみとし、不適切なデータの保存や不要なファイルがある場合は減点の対象となる。
8. 作成するページファイル名には 2 バイト文字は使用せず、半角英字のみとして、スペースなどをいれずに作成すること。またファイルのデータ形式、拡張子等にも留意すること。データの保存は問題で作成を指示されたフォルダに保存すること。
9. 本検定試験では、ハイパertextマーク付け言語(HTML)については JIS X 4156:2000 (ISO/IEC15445:2000)、W3C(ワールドワイドウェブコンソーシアム)HTML4.01 とし、かつ、拡張可能なハイパertextマーク付け言語(XHTML)は W3C XHTML 1.0 以降を推奨する。段階スタイルシート(CSS)については JIS X4168:2004、W3C CSS level1 以降を推奨する。設問中、(X)HTML ファイルとある場合は HTML と XHTML どちらを選んでもよい。しかし、HTML、XHTML と明記し記述している場合はそれに従うこと。また、作成する HTML ファイルの文字コードは UTF-8 にすること。

作業1～6の中から5問を選択し、各設問の文章に従い作業を行うこと。
作業で利用する素材は、デスクトップ上のdata3フォルダのものを使用すること。
また、各設問の指示に従い、デスクトップ上のwd3フォルダにフォルダ、ソースファイルなどを配置し提出すること。wd3フォルダが作成されていない場合は受検者が作成すること。
すべての課題提出データは検定指定ウェブブラウザで正しく表示されること。

作業1: 次の(1)～(2)の作業を行いなさい。

- (1) デスクトップ上のdata3フォルダのq1フォルダ内にある fs.jpg に従い、index.html、CSSファイル、画像等のソースファイルおよびディレクトリ構成を適切に訂正し完成させなさい。その際、必要に応じフォルダ等は作成し、CSSファイル、画像等が正しく適用されるよう、index.htmlおよびCSSファイルを編集すること。
- (2) デスクトップ上のwd3フォルダ内にa1という名前でフォルダを作成し、フォルダおよびソースファイルを構成に留意して保存しなさい。

作業2: 次の(1)～(4)の作業を行いなさい。なお、次の(1)～(4)で指示された箇所以外については変更する必要はない。

- (1) デスクトップ上の data3 フォルダの q2 フォルダ内にある index.html、info.html、skilltest.html、form.html の「global_navi」で指定されたエリアにあるグローバルナビゲーションの各画像に対して、対応する各ページへのリンクが正常に行われるようにしなさい。
- (2) 「HOME」は index.html に、「協会情報」は info.html に、「ウェブデザイン技能検定」は skilltest.html に、「問い合わせ」は form.html にそれぞれリンクを設定しなさい。その他は無視してよい。
- (3) info.html、skilltest.html、form.html の「main_content」内にある「A」、「B」、「C」の箇所をそれぞれのページタイトルと同じテキストに修正しなさい。
- (4) 修正した index.html および表示に必要な他のファイル等とともに、デスクトップ上の wd3 フォルダ内に a2 という名前でフォルダを作成し保存しなさい。

作業3: 次の(1)～(2)の作業を行いなさい。

- (1) デスクトップ上の data3 フォルダの q3 フォルダ内にある index.html を編集し、次に示す各ウェブブラウザでの表示結果と同じとなるように 1.css、2.css、3.css の 3 つの CSS ファイルより正しいものを選択し適用させなさい。なお、表示結果のファイルは次のとおりとする。
 - (a) Internet Explorer6 がインストールされている場合は、ie6_1.jpg。
 - (b) Internet Explorer7 または 8 がインストールされている場合は、ie7_8_1.jpg。
 - (c) Internet Explorer9 または 10 がインストールされている場合は、ie9_10_1.jpg。
 - (d) Firefox の場合は、ff_1.jpg。
- (2) 修正した index.html および表示に必要な他のファイル等とともに、デスクトップ上の wd3 フォルダ内に a3 という名前でフォルダを作成し保存しなさい。

作業 4: 次の(1)～(2)の作業を行いなさい。

- (1) デスクトップ上の data3 フォルダの q4 フォルダ内にある style.css を編集して、h1 要素に関連する背景の色を #000033、文字の色を #ffffff に変更しなさい。指定以外の要素は特に変更する必要はない。
- (2) 修正した style.css や index.html ファイルおよび表示に必要な他のファイル等とともに、デスクトップ上の wd3 フォルダ内に a4 という名前でフォルダを作成し保存しなさい。

作業 5: 次の(1)～(2)の作業を行いなさい。

- (1) デスクトップ上の data3 フォルダの q5 フォルダ内にある index.html の body 要素および wrap 要素に、style.css を編集して、次に示す各ウェブブラウザでの表示結果と同じとなるように背景画像を適用しなさい。背景画像は q5 フォルダ内の img フォルダより適切なものを選択し適用すること。なお、表示結果のファイルは次のとおりとする。
 - (a) Internet Explorer6 がインストールされている場合は、ie6_2.jpg。
 - (b) Internet Explorer7 または 8 がインストールされている場合は、ie7_8_2.jpg。
 - (c) Internet Explorer9 または 10 がインストールされている場合は、ie9_10_2.jpg。
 - (d) Firefox の場合は、ff_2.jpg。
- (2) 修正した style.css や index.html ファイルおよび表示に必要な他のファイル等とともに、デスクトップ上の wd3 フォルダ内に a5 という名前でフォルダを作成し保存しなさい。

作業 6: 次の(1)～(2)の作業を行いなさい。

- (1) デスクトップ上の data3 フォルダの q6 フォルダ内にある index.html の「main_content」で指定されたエリアに、現在配置されているテキストを削除して、sample.txt に記載されている文章を配置し、ウェブページを更新しなさい。その際は文章をよく読み、h1 要素、h2 要素、p 要素、ol 要素、ul 要素のすべてをもれなく使用し構造化を行うこと。なお、各リスト項目の文頭につくマーカーについては、ol 要素、ul 要素のデフォルトのスタイルを適用させ実現すること。
- (2) 修正した index.html および表示に必要な他のファイル等とともに、デスクトップ上の wd3 フォルダ内に a6 という名前でフォルダを作成し保存しなさい。

◇免責事項◇

本検定試験において記載されている企業名、製品名は、それぞれの企業の商標又は登録商標である。
受検上の留意事項、設問内等では®、TM マークを明記しない。

よくわかるマスター
特定非営利活動法人
インターネットスキル認定普及協会 公認
ウェブデザイン技能検定 過去問題集 3級
(FPT1319)
平成25年度第4回試験 問題編

2014年 4 月 初版発行

著作：特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会
制作：富士通エフ・オー・エム株式会社

発行所：^{エフオーエム}FOM出版（富士通エフ・オー・エム株式会社）
〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー

- 本冊子は、構成・文章・画像・データなどのすべてにおいて、著作権法上の保護を受けています。
本冊子の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。
- 過去問題に関するご質問には、特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会および富士通エフ・オー・エム株式会社では、一切お答えできません。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Microsoft、Windows、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mozilla、Firefoxは、Mozilla Foundationの登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社および製品などの名称は、各社の登録商標または商標です。
- 本冊子に起因してご使用者に直接または間接的損害が生じても、特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会および富士通エフ・オー・エム株式会社はいかなる責任も負わないものとし、一切の賠償などは行わないものとします。
- 本冊子に記載された内容などは、予告なく変更される場合があります。